

soi のてはじめ
「MAP プロジェクト」

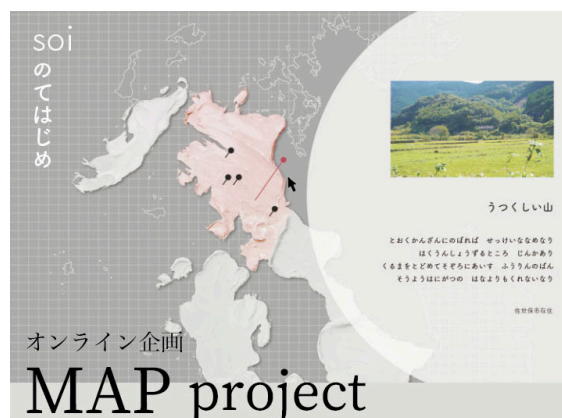
WEB 公開のお知らせ

東京藝術大学の学生を中心としたアーティストユニットが
WEB 企画「MAP プロジェクト」を公開。複雑な社会問題をめぐる状況をありのままに可視化

アーティストユニット『soi のてはじめ』は、2020年8月30日に新企画「MAP プロジェクト」をWEB上で公開します。『soi のてはじめ』とは、“solution of issue”と“寄り添い”の2つの意味を込め、2019年7月に東京藝術大学の学生を中心に結成された、アートを通して社会について考えるアーティストユニットです。

私たちは2019年の7月以来、半年以上にわたり長崎県川棚町石木郷こうばる地区を訪れ「石木ダム問題」についての取材、リサーチを重ねてきました。公共事業の開発における土地の権利をめぐり、長年行政と住民との間で対立が繰り返されている同地では、ダム建設への賛成・反対といった二項対立では説明しきれない、さまざまな立場・環境に置かれている人々がいます。

この「MAP プロジェクト」は、そうしたさまざまな立場に置かれた人々が抱えるそれぞれの思いを、自らの思いを述べた文章とその人に見えている風景の写真を合わせて地図上に位置づけます。そうすることで、「石木ダム問題」をめぐる複雑な状況をあらゆる構図に分類することなく、ありのまま可視化させることを目指します。また人々の思いをそれぞれの視線によって切り取られた風景とともに見せることで、立場や環境による景色の見え方の違いもあらわにします。



「MAP プロジェクト」以外にも、『soi のてはじめ』の今までの活動内容や過去に行った展示・プロジェクトのアーカイブも同サイト内で同時公開いたします。

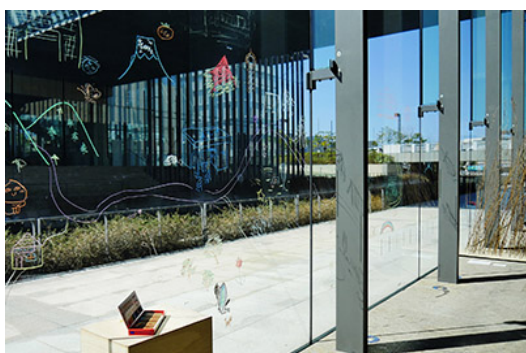
▶ 『soi のてはじめ』WEB サイト：<http://soinotehajime.com>

■参考資料・プロジェクト記録画像（過去作品）



左：「『soi のてはじめ』 第一回滞在・取材報告展」展示会場内の様子

右：作品「かつて風景の一部だったものに風景をプリントする。-(33°04'59.4"N 129°53'12.4"E)-」



ワークショップ「つくろう、つなげよう、私たちのまち」

2020年3月 「『soi のてはじめ』 第一回滞在・取材報告展」



左：長崎県内で作品制作をするアーティストの様子

右：現地の植物と青写真を利用したワークショップ「青の記憶」

■ 『soi のてはじめ』

【コンセプト】

私たちが生きる現代では、効率性の名のもとに絶えず新しいものが生みだされ続けています。しかしその一方で、長い歴史を通し培われてきた暮らしに根付いた生きる術が失われていることもまた自明でしょう。このような状況では、周囲に溢れる新しいモノの価値を精査したり、何かが失われていくという事実気付いたりすることが難しいのではないのでしょうか。私たちはさまざまな人々や生物、自然とのコミュニケーションを通して、そうした"新しいもの"により"失われていくもの"に寄り添うことを目指します。そのような実践によって、これからの未来に必要なものについて考えるきっかけをアートを通して生み出すことを目的としています。

アーティスト

岩崎 広大 | Iwasaki Hiromasa 東京藝術大学大学院美術研究科油画専攻 在籍

亀倉 知恵 | Kamekura Chie 東京藝術大学大学院美術研究科油画専攻 修了

西尾 佳那 | Nishio Kana 東京藝術大学大学院美術研究科油画専攻 修了

キュレーション

岩田智哉 | Iwata Tomoya 東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 在籍

マネジメント

古家 那南 | Furuya Nanan 武蔵野美術大学芸術文化学科 在籍

■ soi のてはじめ「MAP プロジェクト」

主催：soi のてはじめ

協賛：パタゴニア日本支社

助成：東京藝術大学「I LOVE YOU」プロジェクト

URL：<https://soinotehajime.com/>

【本企画に関するお問い合わせ先】

本企画に関するさらなる情報が必要な場合はこちらまでご連絡ください

担当：古家那南

Tel : 090-6708-5919

Mail : ishiki.project@gmail.com